

沖縄県主催の地域安全マップ作製指導者講習会で講演

～ぼうさい探検隊の進め方やマップ作製方法等を説明～

日本損害保険協会九州・沖縄支部沖縄損保会(会長：新崎 盛史 大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員)は、7月2日(木)および3日(金)に開催された沖縄県主催の「令和8年度地域安全マップ作製指導者講習会」において、講演を行いました。

本講習会はwebで開催され、児童クラブ、こどもの家の指導者等が参加しました。内容は2部構成で、第1部では沖縄県警察本部 生活安全部生活安全企画課 職員(1日目は島尻透係長、2日目は豊島貴男氏)から、「沖縄県の犯罪情勢等について」と題した講演がありました。第2部では日本損害保険協会 九州・沖縄支部 職員(1日目は加藤係長、2日目は新城事務局長代理)から、「まちの防災・防犯・交通安全をテーマとしたマップづくり ぼうさい探検隊(※)の進め方」と題した講演で、「ぼうさい探検隊」の取組みの意義を紹介するとともに、マップの作製方法等を説明しました。

沖縄県では、犯罪のない安全で安心して暮らせる沖縄県を実現するために、県民総ぐるみで防犯に取り組む、「ちゅらさん運動」を推進しています。またその一環として、子ども自身の犯罪被害回避能力および地域への愛着心の醸成と安全マップの普及促進等を図るため、「沖縄県子ども地域安全マップコンテスト」を実施しており、同コンテストの応募団体のうち希望する団体については、当協会主催の「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」(後援：沖縄県等)にも応募いただいています。

九州・沖縄支部では、引き続き、沖縄県をはじめ、関係機関とともに、地域の安心・安全の向上に資する活動を実施してまいります。

※「ぼうさい探検隊」とは

子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラム。2004年度から「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を開催し、今回で23回目。自治体や行政等への提言により実際に危険箇所が改善された事例もあり、地域安全力向上の一助になっている。



沖縄県知花主査、沖縄県警察島尻警部補
によるご説明



損保協会職員による説明の資料